

第3回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

〔不許複製〕

6級

(G)

答えには、「常用漢字表」にある漢字の字体、読みを使うこと。旧字体を使つてはいけない。

答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

(一) 次の――線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(20 1×20)

- 1 枝いっぱいに梅が花をつける。
- 2 湖面にうすい氷が張っている。
- 3 卒業生に寄せ書きをおくる。
- 4 野球チームのメンバーが増えた。
- 5 一輪車を自在に乗りこなす。
- 6 夕食の後に居間でトランプをした。
- 7 日本の貿易の相手国を調べる。
- 8 不通になっていた道路が復旧した。
- 9 買い物をするとき消費税がかかる。
- 10 あざやかな色のきぬ糸で帯を織る。
- 11 リレーの決勝は接戦となった。
- 12 書きぞめのコンクールで入賞した。
- 13 自由研究のための資料を集める。
- 14 母から犬の散歩を任された。
- 15 駅の場所を略図にかいて説明する。
- 16 笛をふく友達の姿を版画にした。
- 17 雪解け水が川を勢よく流れる。
- 18 電車に向けてカメラを構える。
- 19 父は朝刊を読んでから出勤する。
- 20 罪をにくんで人をにくまず

(二) 次の――線のカタカナを○の中の漢字と送りがな(ひらがな)で書きなさい。(10 2×5)

〈例〉投ボールをナゲル。

投げる

1 示 時計のはりが十二時をシメス。

2 修 大学で天文学をオサメル。

3 測 池の水の深さをハカル。

4 快 ココロイ風がふさわたる。

5 燃 たいまつのが火がモエル。

(三) 次の漢字の部首名と部首を書きなさい。部首名は、後の□から選んで記号で答えなさい。(10 1×10)

〈例〉花・茶 (ア) (サ)

効・勢 (1) (2)

婦・好 (3) (4)

余・倉 (5) (6)

故・政 (7) (8)

限・際 (9) (10)

ア くさかんむり イ こぎとへん
ウ のぶん エ ひとやね
オ ぼくづくり カ くち
キ のぎへん ク おおがい
ケ おんなへん コ ちから

(四) 次の漢字の太い画のところは筆順の何画目か、また総画数は何画か、算用数字(1、2、3…)で答えなさい。(10 1×10)

〈例〉投

何画目 総画数
(5) (7)

団

何画目 総画数
(1) (2)

責

(3) (4)

準

(5) (6)

報

(7) (8)

圧

(9) (10)

(五) 漢字を二字組み合わせたじゆく語では、二つの漢字の間に意味の上で、次のような関係があります。(20 2×10)

ア 反対や対になる意味の字を組み合わせたもの。(例:上下)

イ 同じような意味の字を組み合わせたもの。(例:森林)

ウ 上の字が下の字の意味を説明(修飾)しているもの。(例:海水)

エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。(例:消火)

次のじゆく語は、右のア～エのどれにあたるか、記号で答えなさい。

- | | |
|------|-------|
| 1 停止 | 6 明暗 |
| 2 苦楽 | 7 開演 |
| 3 防寒 | 8 出現 |
| 4 敗因 | 9 昼夜 |
| 5 救命 | 10 予告 |

6級 (G)

(六) 次のカタカナを漢字になおし、一字だけ書きなさい。

- 1 血エキ型
- 2 ベン当箱
- 3 判ダン力
- 4 円周リツ
- 5 ヒ売品
- 6 芸ジュツ的
- 7 高品シツ
- 8 不トク意
- 9 美意シキ
- 10 習カン化

(七) 後の□の中のひらがなを漢字になおして、対義語(意味が反対や対になることば)と、類義語(意味がよく似たことば)を書きなさい。

□の中のひらがなは一度だけ使
い、漢字一字を書きなさい。

対義語

- 順風――(1)風
- 形式――内(2)
- 実名――(3)名
- 損失――利(4)
- 肉体――(5)神

えき・か・ぎやく・せい・よう

類義語

- 火事――火(6)
- 関心――(7)味
- 建造――建(8)
- 順番――順(9)
- 運送――運(10)

きよう・さい・じよ・ちく・ゆ

(20)
2×10

(八) 上の読みの漢字を□の中から選
び、(一)にあてはめてじゅく語を
作りなさい。

答えは記号で書きなさい。

ジョウ	愛(1)・(2)約 (3)温
エイ	経(4)・(5)星 (6)遠

ア乗	イ常	ウ営	エ栄
オ永	カ状	キ泳	ク英
ケ条	コ衛	サ場	シ情

(九) 漢字の読みには音と訓があります。
次のじゅく語の読みは□の中の
どの組み合わせになっていますか。
ア／エの記号で答えなさい。

ア音と音	イ音と訓
ウ訓と訓	エ訓と音

1 設 ^{せっ} 定 ^{てい}	6 余 ^よ 分 ^{ぶん}
2 手 ^て 数 ^{すう}	7 綿 ^{わた} 雪 ^{ゆき}
3 仕 ^し 方 ^{かた}	8 紙 ^{かみ} 製 ^{せい}
4 粉 ^{こな} 薬 ^{ぐすり}	9 仏 ^{ほとけ} 様 ^{さま}
5 独 ^{どく} 立 ^{りつ}	10 毎 ^{まい} 月 ^{つき}

(十) 次の――線のカタカナを漢字にな
おしなさい。

- 1 酸^ソは色にもおもない気体だ。
- 2 ^ソ母と千羽づるを折った。
- 3 つくえをまど側に^{ウツ}す。
- 4 好きな詩をノートに書き^{ウツ}す。
- 5 電話は十九世^キに発明された。
- 6 ^キ則正しい生活を心がける。
- 7 録画したテレビ番組を^{サイ}生する。
- 8 外国の大統領夫^{サイ}が来日した。
- 9 学級会でばくの提案が^{サイ}用された。

氏 名

(土) 次の――線のカタカナを漢字にな
おしなさい。

- 1 水玉もようの^{ヌノ}でエプロンを作る。
- 2 弟は^{ホイク}園に通っている。
- 3 おじは外交官になる^{ユメ}をかなえた。
- 4 校庭の^{サクラ}の開花が待ち遠しい。
- 5 キャプテンを^{カコ}んで作戦を練る。
- 6 親切にしてくれた友達に^{カン}シャする。
- 7 先生から合唱の^{シドウ}を受ける。
- 8 この村の人口は^{ゲン}シヨウしている。
- 9 ^{ケワ}しい山道を一列になって登る。
- 10 西の空が^{アツ}い雲におおわれる。
- 11 目がかゆいので^{ガン}カ医院に行く。
- 12 空港は旅行者で^{コン}ザツしていた。
- 13 いちごはビタミンCが^{ホウ}フな果物だ。
- 14 農家の人が広い畑を^{タガ}ヤしている。
- 15 小雨が^タえ間なくふっている。
- 16 水泳教室で泳ぎ方の^キホンを習う。
- 17 辞書で語句の意味を^{タシ}かめる。
- 18 青い毛糸でマフラーを^アむ。
- 19 強風のために船が^{ケツ}コウした。
- 20 薬も過ぎれば^{ドク}となる